照明器具使用についての安全上のご注意

⚠ 警　告

火災のおそれがあります
- 器具を布・紙等でおおったり、カーテン・揮発物等の燃えやすい物に近づけないでください。
- 器具及び取扱説明書に表示されている適合ランプ以外は、使用しないでください。
- 器具及び取扱説明書に表示されている電源電圧以外で使用しないでください。

感電・火災のおそれがあります
- 器具及び部品の改造をしないでください。
- 器具のすきまに、異物（金属類や燃えやすい物等）を差し込まないでください。

感電・火災のおそれがあります
- 異常時（煙が出たり、変な臭いがする等）には、速やかに電源を切ってお買上げの販売店にご相談下さい。

感電のおそれがあります
- ランプの交換や器具のお手入れの際には、必ず電源を切ってください。

⚠ 注　意

- この器具は屋内専用器具ですが、風呂場等の湿気や水気の多い場所では使用できません。屋外では使用しないでください。**感電・火災の原因**となります。
- 器具に水をかけたり、水の中につけて洗わないでください。**感電・火災の原因**となります。
- 器具の近くに温度の高くなるストーブや発熱体を置かないようにしてください。**器具の変形や火災の原因**となることがあります。
- 点灯中及び消灯直後のランプ及びその周辺にさわらないでください。**やけどの原因**となることがあります。
- 器具の保守・お手入れ等で器具を回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。**器具落下の原因**となることがあります。
- グローブ、シェード及びランプの着脱は両手で静かに扱い、取付けは取扱説明書にしたがって確実に行ってください。取付けが不完全な場合、**落下によるけが・物損の原因**となることがあります。
- 器具は**定期的に（６ケ月程度）保守点検**をしてください。ネジや部品のゆるみ、損傷、着脱がないかお調べください。不具合があった場合はそのまま使用しないで、販売店に修理の依頼をしてください。

お　願　い

- ぬれた手で器具にさわらないでください、感電の原因となることがあります。
- ガラス・陶磁器類はこわれやすい材料です。お取扱いの際には両手で静かに行ってください。
- 器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー、ベンジン等の揮発物でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・破損の原因となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

ペンダント

タルジェッティ ポールセン ジャパン株式会社
〒106-0032　東京都港区六本木 5-17-1　アクシスビル３F
TEL 03-3586-5341　　FAX 03-3586-0478

※取付方法等、技術的内容に関してのお問い合わせ先
TEL　048-969-5288
平日 10:00～12:00 13:00～18:00 （土・日・祝日休み）

PH 3/2 ペンダント

取扱い説明書

○この度は、ルイスポールセンの照明器具をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書をよくご覧のうえ、正しくご使用ください。

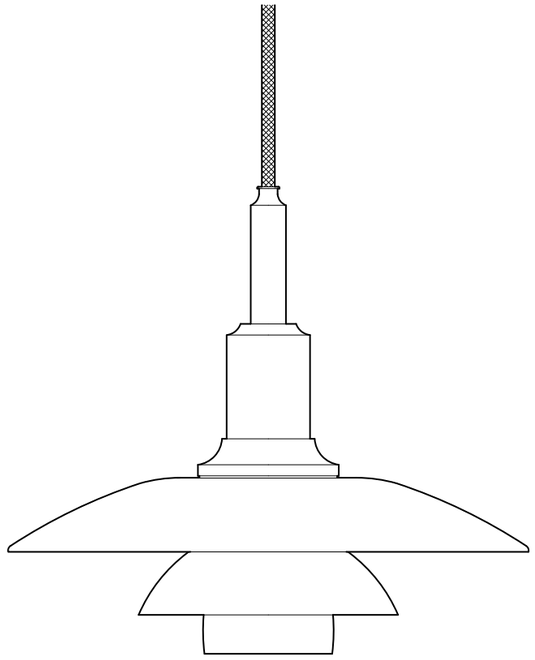
○電源の工事は専門の電気工事店におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

○万一破損したり、異常を感じた場合は、速やかに電源を切りお買い求めの販売店にご相談ください。

○電気工事店の方へ：
取付け工事が済みましたら、この説明書を必ずお客様にお渡しください。

○お客様へ：
この説明書は必ず保管してください。

○本品の規格及び外観は改良のため予告なく変更する場合がございますが、ご了承ください。



ガラス製のシェードについて

上質でここちよい光を得るために、これらのシェードは職人の手作りによる三層吹きガラスです。
ガラスの厚みや質量は個々に異なり、多少傾きが生じることがあります。また、ガラスに気泡が入っている場合もございます。

デザイン：ポール・ヘニングセン

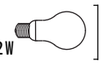
16894-I1　10／11

louis poulsen

タルジェッティ ポールセン ジャパン株式会社

定格・仕様

電 源 電 圧：交流 100V
適合ランプ：白熱電球 ホワイト
60W×1(同梱)
または
電球形蛍光ランプ
12W×1

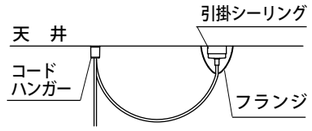
［※指定ランプ
東芝ライティック製
ネオボールZリアル12W  ］

ソ ケ ッ ト：E26
寸　　法：幅　φ284mm
高　　252mm
質　　量：1.5kg
材質・仕上：
支柱・ベース
…真鍮 クロームメッキ仕上
または
ブラック・クロームメッキ仕上
シェード
…乳白色 3層吹きガラス
(内面：マット仕上)

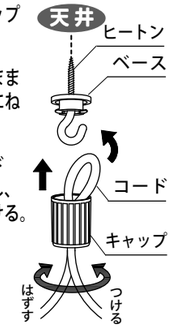
コードハンガーの使い方と取付方法

灯具の吊下げ位置は、コードハンガーを使い調整してください。

⚠注意 コードハンガーの取り付けは天井の補強材のある位置に行ってください。

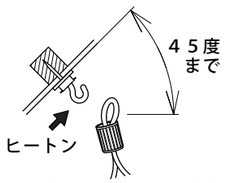


①ベースからキャップをはずす。
②ベースをつけたままヒートンを天井にねじ込む。
③折り曲げたコードをキャップに通し、ヒートンに引掛ける。
④キャップを押し上げ、ベースに確実にねじ込む。



傾斜天井に取り付ける場合

・付属のコードハンガーを使用すれば４５度までの傾斜天井に取り付けることができます。

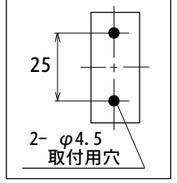


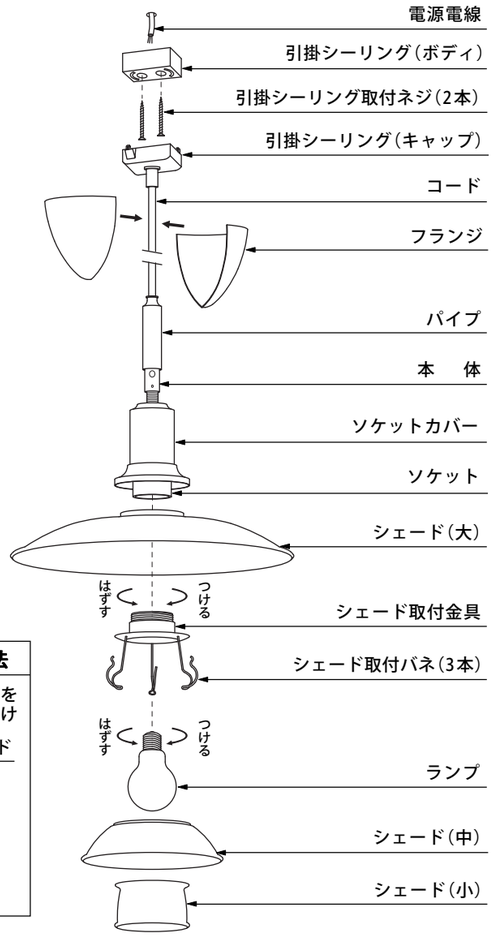
・必ずヒートンの開口部が上を向くように取り付けてください。

付属品

引掛シーリング取付ネジ　×　2 ……
フランジ　×　1 ……
コードハンガー　×　1 ……
ランプ（白熱電球　ホワイト　60W）×１ ……

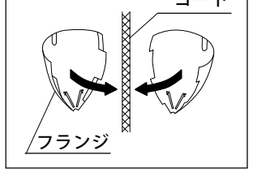
取付ピッチ





フランジの取付方法

２枚のフランジでコードをはさみこむように取り付けてください。

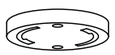


● 本器具を取り付ける前に部品の不足やキズ、破損がないことを確認のうえお取り付けください。

⚠警告 工事が完了するまでは、必ず電源を切っておいてください。
⚠警告 ランプを取り付ける際には、必ず電源を切ってください。
⚠警告 電源電線の接続は取扱説明書にしたがい正しく接続してください。接続に不備があると、接続不良による発熱、火災の原因となります。
⚠警告 器具の取り付けは取扱説明書にしたがい正しく取り付けてください。取り付けに不備があると、器具の落下、感電、ケガの原因となります。
⚠警告 器具の取り付けは、取付ける天井の強度を確認し、質量に耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、補強工事をしてから取り付けてください。
⚠注意 取り付けた器具を無理に回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。器具落下によるけがの原因となります。
⚠注意 シェード、ランプの着脱は、両手で静かに扱い、取付けは確実に行ってください。落下によるけがの原因となります。

※天井面に下図の引掛シーリング(ボディ)が付いている場合は、そのままお客様がお取り付けできます。
※丸型引掛シーリング(ボディ)には標準よりも厚みのあるものがあります。それにフランジを取り付けると天井面から多少浮いてしまうこともありますが、ご了承ください。

埋込引掛シーリング


丸型引掛シーリング

角型引掛シーリング

取付順序

1
電源電線を引掛シーリング(ボディ)に接続し、引掛シーリング取付ネジ(２本)で天井に取り付けてください。

⚠警告 引掛シーリング(ボディ)の取り付けは専門の電気工事店に依頼してください。

2
シェード取付金具を回しながらソケットカバーからはずしてください。　(図１参照)

3
シェード(大)をソケットカバーに合わせ、シェード取付金具ではさみ込むように固定してください。　(図２・３参照)

4
引掛シーリング(キャップ)を天井の引掛シーリング(ボディ)に取り付けてください。

- 引掛シーリング(キャップ)の２本の引掛刃を引掛シーリング(ボディ)に挿入し、カチッと音がするまで右にまわしてください。(右図参照)

引掛シーリング(キャップ)のはずしかた
ボタンを押し、そのまま左方向へまわしてください。

5
フランジを取り付けてください。フランジは引掛シーリングがかくれるように押し上げ天井に密着させてください。
(２ページの「フランジの取付方法」を参照)
フランジは分割した状態で梱包されています。取り付けの際は、コードをはさみ込みながら合わせてください。

6
吊下げ位置を調整する場合は、付属のコードハンガーを使ってください。(２ページの「コードハンガーの使い方と取付方法」を参照)

7
使用するランプに合わせてソケットの位置を調節してください。(この器具は、美しい光を出すためにランプを適切な位置に調節する必要があります。)

- 同梱されている普通ランプをご使用の場合は、そのままお使いいただけます。
- 電球形蛍光ランプ(別途)をご使用の場合は、下記の手順で調節してください。
①パイプを上げて本体を持つ。　(図４参照)
②シェード(大)を回してシェード位置を下げてください。　(図４参照)
③図５で示す位置に調節してください。
- シェード位置を上げる場合は、図４の逆向きに回してください。
- パイプはランプの取り付けが終わるまで上げておいてください。

8
ソケットにランプをねじ込んでください。
ランプの取り付けは、本体を片手で持ってから行ってください。

⚠警告 器具及び取扱説明書に表示されている適合ランプ以外は、使用しないでください。火災の原因となることがあります。

9
シェード(中)をシェード取付バネにいったん通して持ち上げた状態にしておきます。
(図６・７参照)

10
シェード(小)をシェード取付バネ(３本)に取り付けてください。　(図７参照)

11
シェード(中)をシェード取付バネ(３本)に取り付けてください。　(図８参照)

※シェードの取り付けは、シェード取付バネ(３本)の所定の位置へ確実に取り付けてください。　(図９参照)
取り付けに不備がありますとシェードの落下の原因となります。

※この製品は１９２０年代にデザインされたペンダントを復刻したものです。
当時の構造を忠実に再現しています。バネによるセードの取付けにより若干の傾きが生じることがあります。

図 1

図 2

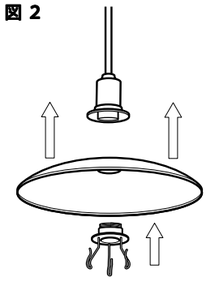
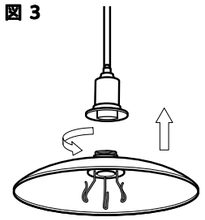


図 3



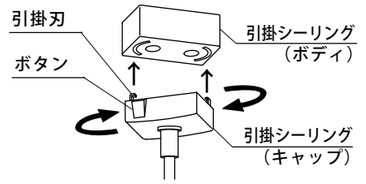
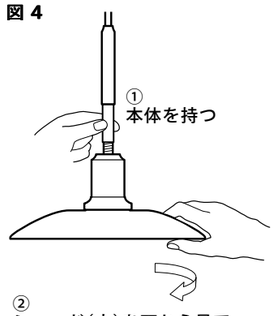
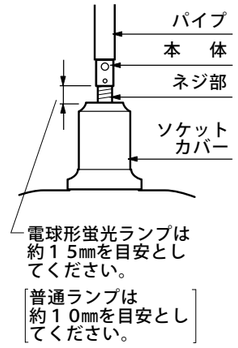


図 4



②
シェード(大)を下から見て反時計回りにまわします。
下に少し押しつけるようにしながらまわしてください。

図 5



電球形蛍光ランプは
約１５㎜を目安としてください。
［普通ランプは
約１０㎜を目安としてください。］

図 6

図 7

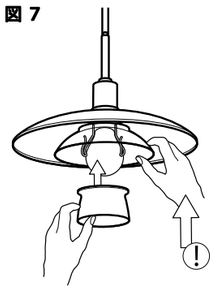


図 8

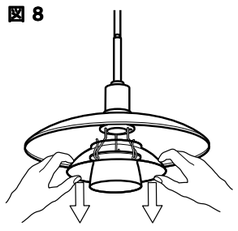
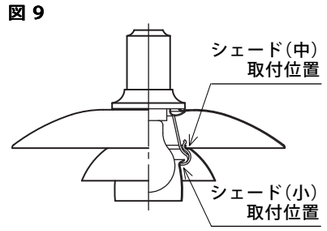


図 9



ランプの交換方法

１．シェード(中)をシェード取付バネ(３本)からはずして持ち上げる。　(図７参照)
２．シェード(小)をはずす。
３．シェード(中)をはずす。
４．パイプを持ち上げ、本体を持ちながらランプをはずす。

- シェードの取り付けは左の本文をご覧ください。